

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2008年12月24日

「平成20年10～12月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－全業種が大幅悪化。10年振りに業況判断指数がマイナスを50下回る－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成20年10～12月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要

調査対象 遠州信用金庫、浜松信用金庫の取引先 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法

調査時期 平成20年12月1～5日

回収状況 回収数 618 社（回収率 97.1%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

① 平成20年10～12月の景況について

業況 DI は全産業ベースで－56.0 となり、9月の前回調査（－28.6）から 27.4 ポイント悪化した。悪化は4四半期連続で前期の12月予想値（－32.8）を大幅に下回った。DI が－50 を下回るのは平成10年9月以来約10年振り。

② 平成21年1～3月期の見通しについて

1～3月期にかけても、全産業ベースで業況 DI は 13.8 ポイント悪化の－69.8、売上額 DI は 19.0 ポイント悪化の－57.6 と極めて厳しい見通しとなっている。

③ 業種別の動向

業種	業況 DI (前期→当期)	動向
二輪部品製造	－41.4→－64.9	業況 DI は記録のさかのぼれる平成4年9月期以降で最低の数値。
自動車部品製造業	－33.4→－69.6	主要判断指数は軒並み大幅悪化。業況 DI は－69.6 で全産業中最も悪い水準。
機械部品製造	－25.0→－53.1	業況 DI が平成13年12月以来－50 を割り込んだ。その他主要判断指数も低水準で推移。
楽器部品製造	－10.5→－63.1	業況、売上額 DI とも 50 ポイント以上悪化するなど主要判断指数は大幅に悪化。
繊維製造	－37.0→－59.2	主要判断指数は軒並み悪化。1～3月期の主要判断指数はさらに悪化を予想。
卸売業	－35.2→－58.6	販売価格 DI が5四半期振りに下落。
小売業	－20.9→－42.6	業況 DI は－42.6 と5年ぶりの低水準。依然として人手、設備の不足感は強い。
建設業	－22.2→－51.3	材料価格 DI は前期より大幅に下落し原材料上昇に一服感がみられる。
不動産業	－23.6→－50.1	1～3月期にかけても主要判断指数はさらに悪化を予想。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9 階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 富野

TEL 053-452-1510